

**白河城下景観まちづくり協定を認定
城下町にふさわしい品格あるまちを**

2月8日、市役所で「白河城下景観まちづくり協定」の認定式が行われ、鈴木市長から添田泰弘大工町・手代町・袋町景観まちづくり協議会長に認定証が交付されました。

市の認定第2号となる今回の協定は、城下町にふさわしい品格のある美しいまちづくりを目的に、小峰城跡三重櫓への眺望を確保するため、協定区域内の建築物に対する高さの制限や色彩等の配慮などが定められています。



▲認定証を手にする添田会長（左から3人目）と住民の皆さん

**翠楽苑で初心者茶道教室
茶道体験を通して新たな交流**

1月31日から2月21日まで、4回に渡り、翠楽苑で「初心者茶道教室」が行われ、参加者はお茶とお菓子をいただきながら、茶会でのあいさつなど一連の作法などを体験しました。

参加者からは、「茶道を実際に体験してみて、日本文化の原点を見直すことができました」という声が聞かれました。また、双葉町から本市に避難されている方は、「白河の人と触れ合うことができる良い機会となりました」と話していました。



▲指導を受けながらお茶をいただく参加者の皆さん

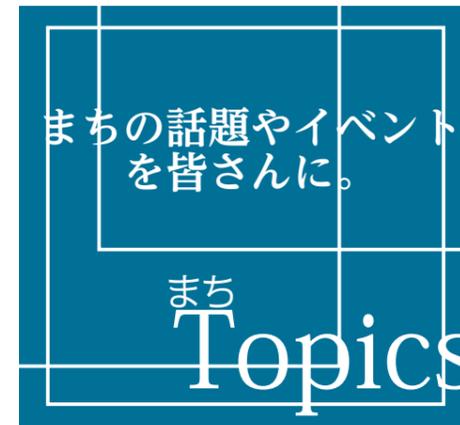
**デジタルマンガ展を開催
手塚マンガをデジタルで堪能**

2月7日から19日まで、市立図書館（道場小路）で「デジタルマンガ展」が開催され、約1,500人が来場しました。会場では、展示された故手塚治虫さんの47点の複製原画を見て懐かしむ人の姿や、設置された多機能端末機のiPad（アイパッド）で、約400巻のデジタル化された手塚マンガを興味深く閲覧する人の姿が見受けられました。

同館では3月31日まで、Wi-Fiでデジタルマンガの無料閲覧を楽しむことができます。



▲iPadでマンガを読む来場者



**震災復興支援コンサート「音楽のおくりもの」
メロディーと感動がホールを包む**

1月28日、市民会館（手代町）で、NHK交響楽団メンバーと日本のトップアーティストによるコンサート「音楽のおくりもの」が開催されました。このコンサートは、震災復興支援を目的に無料で行われ、バイオリンの永峰高志さん、フルートの菅原潤さんの2人のNHK交響楽団メンバーと、テノールの五郎部俊朗さん、ピアノの広海滋子さんが出演しました。

各出演者が繰り出す洗練された歌声や音色がホールを包み込み、来場者は時間を忘れ、音楽のおくりものに酔いしれていました。演奏終了後にはホール全体からアンコールの拍手がわき起こり、来場者全員で「故郷」と市民歌「このまちがすき」を合唱、盛況のうちに終了しました。



▲ホールを埋める来場者

**小峰城跡石垣崩落石材撤去工事安全祈願祭
シンボルの復元に向け本格的に始動**

2月8日、小峰城跡の清水門前で「小峰城跡石垣崩落石材撤去工事安全祈願祭」が行われ、関係者が工事の安全を祈りました。

この工事は、東日本大震災で崩落した同城跡石垣の一部の石材約2千個を撤去するもので、3月末の完了を目指します。撤去した石垣には番号を付け、再利用可能かを判断するとともに、石垣崩落の原因を究明していきます。

シンボル復元への歩みを着実に進めていきます。



▲工事の安全を祈る関係者